

第1学年1組 道徳指導案

- 1 主題名 集団をよりよくするために〔内容項目C-（15）：集団生活の向上〕（1時間完了）
（資料名 「わたしは言った」 出典：明るい人生（愛知県教育振興会））

2 ねらい

部活動で先輩との関係がうまくいかなかった時に、1年生のキャプテンであるわたしは自分の役割を果たさず、感情に流されて逃げてしまう。学級では学級委員の役割を果たそうとしない態度に腹を立ててしまう。二つの立場を経験するわたしの姿から、集団の一員として、役割を意識して行動することの重要性を考えることで、集団生活の発展に努めようとする道徳的実践意欲を高める。

3 ねらいとする道徳的価値

生徒は学校生活の中で、さまざまな集団に属し、役割をもって生活をしている。学級では日々の係活動、教科リーダー、給食や掃除の当番活動、学校行事に向けてのリーダーなどの役割がある。部活動では鍵の当番や体操や号令の係、キャプテンや副キャプテンなどの役割がある。それぞれの集団は生活の拠点としてだけではなく、時に共通の目標に向かって行動することが求められる。

集団が共通の目標に向かって一体となるためには、各自が役割を果たすだけでなく、他の人の仕事にも協力したり、よりよい集団づくりのためのアイデアを出して行動したりすることが望まれる。しかし、自分の都合や一時の感情、慌ただしさから役割を果たすことができず、集団の成員間の摩擦や対立を引き起こし、目標の達成を妨げることがある。

本時を通して、集団の一員としての自己の役割を自覚し、任務を果たしていこうとする気持ちを高めたい。

4 ねらいとする道徳的価値に関する生徒の実態と願い

(1) 学級について

本学級では、生徒が自治的に活動できることをめざし、係活動を行っている。生徒が学級生活に必要なだと考える係を出し、「学習の機会を作る、学習環境を整える、交流の機会を作る」の三つに分けて活動している。担任は「自分たちで決めたことは自分たちで守る」ことができるように後押ししている。例えば、席替え係は学級の交流の場をつくるために席替えを企画する。係の提案がなければ、席替えは実施しない。

新しい係を立ち上げたり、ルールを変えたりすることもある。学級に必要なことについては全員の前で提案し、同意を得るようにしている。めだか係は5月に立ち上げた。生き物がいたほうが、休み時間や昼放課に話題が増えたという経験者の提案からである。6月、夏服への更衣期間には名札を忘れてしまう者が出てきたことから、名札係ができ、紙名札の作成や呼びかけをすることができた。残飯が多いことを課題にした完食係は、少しでも食べる時間を確保するために、準備ルールの見直しを提案した。

一方、朝の部活動の始まり、テスト週間、自然教室実行委員など、学級集団以外の生活が忙しくなってくると、係や委員会の仕事を後回しにしたり人任せにしたりしてしまう姿も見られた。呼びかけをしない、係の仕事を忘れる、自分のことで精いっぱいという状況である。そのため、委員会のアンケートが全員そろわない、レク企画係が行ったドッジボール大会では提案したルールが浸透していない、花係は花の持参を呼びかけなくなるなど、まわりへの発信が不十分な姿も見られた。それぞれの生徒が学級や他の生活集団のよさや問題点に目を向けて、集団をよりよくするために行動できるようになってほしい。そのために、自分の役割を自覚し、集団生活を向上させようという、実践的意欲や態度を身につけることを願っている。

(2) 抽出生徒について

① 抽出生徒Aについて

学級では代議員を務めている。会議にきちんと出席して、次の日に学級で話せるようにアンダーラインを引いて、準備をしてくれている。七夕飾りボランティアがいないときには自分が進んで参加した。掃除や給食の時間には、「時間だよ」と先を見通した声かけができる。授業の準備をしてから教室移動するようにSTで呼びかけたこともある。1学期末、一発芸係として特技披露大会を企画し、よい交流の場をつくることができた。集団の生活の向上に意欲的な姿が見られる。

部活動は、運動部に所属している。選手激励会後の日記には、「舞台上でもっと堂々としてほし

かった」「にやにやしていることやこそそ話をしてだめだと思った」と、先輩の姿に幻滅した記述が見られた。しかし、そうした先輩に対する思いはあっても、それを伝えることはできなかった。部活動では1年生のキャプテンという立場ではなく、自身がきちんと行動するにとどまっている。本時では、わたしの行動に対して、責任をもって行動するべきだという立場をとられると思われる。討論の中で、わたしがキャプテンの立場であることに注目した意見を述べることを期待したい。そして、学級集団だけでなく、部活動を含めた学校生活全体でも、集団生活の向上のために考えたことを発信できる存在になってほしいと願っている。

②抽出生徒Bについて

学級では1学期にプリント配り係をしていた。同じ係のメンバーときちんと仕事をこなすことができた。授業でのチャイム前着席をする、各委員会のアンケートを早めに出す、レク企画係の話をうなずきながら聞くなど、集団の一員として、協力的な姿を見せている。ただ、完食係の呼びかけや、一発芸係が企画した特技披露大会など、苦手とする分野では逃げ腰になってしまうことがあり、本人はそういう自分を変えたいと日記につづっている。

部活動の仮入部先を決める際に、ある部活動を希望していたが、だらだらと話をしながらウォーミングアップをしている先輩たちの姿を見て、きちんとやれる雰囲気のところでありたいと言って別の部に入った。

本時では、わたしの姿に自分の消極的な性格を重ね合わせられると思われる。討論を通して、責任ある立場で役割を果たす必要性を感じることを期待したい。そして、集団の一員として、協力者だけでなく、集団をよい方向へ動かす思いをより強くしてほしいと願っている。そして、いずれは学級や部活動において、集団を引っ張る立場になって活躍することを願っている。

5 資料について

(1) 資料の概要

わたしは、先輩のチームのメンバーであり、1年生のキャプテンである。1年生の先輩への反発から部内に不穏な雰囲気が広まるようになった。わたしはキャプテンとして、先輩に意見を述べるように同級生から頼まれた。代表で先輩に意見を述べるべきだという思いと、逆に上級生ににらまれるから嫌だという葛藤が描かれている。このような先輩との接し方は、生徒にとって身近に考えられる問題である。

わたしは先輩に言うことからも、何とかしてほしいと自分を頼りにしてきた同級生からも一度は逃げてしまう。部活動も休むようになった。しかし、親友の恵子の説得やコートで練習している仲間の姿、学活の時間の学級委員の態度から、「わたしが言うわ」と決意することになる。わたしの心の変化を考えることで、ねらいに迫っていく。

(2) 「耳をすまして、学びを拓く」ための資料の生かし方

①資料との対話をさせるための手だて

資料の前半は範読せず、紙芝居を活用することで状況の理解をする。キーワードや発問に該当する部分に赤線を引くように指示し、話がそれた時には発問に立ち返ることができるようにする。

その場を立ち去ったわたしをどう思うかについては指名なし発言を行い、教師がネームプレートを貼って理由と立場の違いが明確になるようにする。意見を述べる前に必ず記述の時間を確保する。話し合いの場でできるだけ多くの生徒が発言できるように、記述は2文以内とする。発言をしたり、聞いたりすることによって、状況の理解を深められるようにしたい。

②他者との対話、自己内対話をさせるための手だて

後半の、わたしが走っていった場面では、指名なし発言で討論を行い、ねらいに迫る。討論の前には、自分の意見を記述する。また、その自分の意見に対する反対意見を予測する時間を設けることで、討論の準備をする。別の意見を聞いて、意見や立場を変えることも認めていく討論中は、相互指名や相互発問、話題がそれた時にもとに戻すなど、生徒自らが進めるようにするが、ねらいとする価値「責任感」に迫ることが困難な流れになったときは、板書で意見が少ない部分にも目を向けるように助言する。

6 板書計画 (16ページ参照)

7 本時の展開

時間	学 習 活 動	※教師支援 ☆評価
5 10	<p>○資料の範読を聞く。</p> <p>みんなの頼みを断って、その場を立ち去ったわたしをどう思うか。</p> <p>○意見を発表する。</p> <div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>よい (弁護)</p> <p>→感情に配慮</p> <ul style="list-style-type: none"> 先輩に嫌われたくない。 メンバーから外されたくない。 <p style="text-align: right;">(①)</p> </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>悪い (批判)</p> <p>→役割に言及</p> <ul style="list-style-type: none"> 無責任だ。 一人で無理ならみんなで行けばいい。 キャプテンをやめればいい。 立ち去っても何も変わらない。 <p style="text-align: right;">(①)</p> </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; width: 30%;"> <p>その他</p> <ul style="list-style-type: none"> よくも悪くもない。 言うのは誰でもいい。 先生に相談すればいい。 今でなくてもいい。1年生だからがまんする。 <p style="text-align: right;">(①)</p> </div> </div>	<p>※前半部分は紙芝居で物語を読むことで、状況設定を短時間で、理解できるようにする。</p> <p>※立場と理由を明確にして指名なし発言を行う。教師がキーワードを取り上げて復唱し、三つの立場を明確にするとともに、各立場の中にも、理由の違う意見があることが理解できるようにする。</p> <p>※それぞれの立場の意見を認めることで、わたしの状況への理解を深められるようにする。(①B:認める)</p> <p>☆わたしの状況への理解を深め、判断の理由と立場を明確にすることができたか。</p> <p style="text-align: right;">(発言)</p>
20	<p>上級生のところにかけていったわたしは何を思っていたのだろう。(②)</p> <p>○討論をする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><自責></p> <ul style="list-style-type: none"> 自分勝手だった自分が恥ずかしい。 自分の都合しか考えていなかった。 自分がやるべきなのに、なぜわからなかったのだろう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><謝罪></p> <ul style="list-style-type: none"> 恵子さんやみんな、逃げてしまっておめんなさい。 一週間も休んでしまっておし訳ない。 みんなのことを考えていなかった。 </div> <div style="border: 1px solid black; padding: 5px; margin-bottom: 10px;"> <p><責任感> (③)</p> <ul style="list-style-type: none"> キャプテンとしての役割を果たさなければならない。 キャプテンにしかできないことだからきちんとやろう。 自分をはっきり言うことで、まとめてみよう。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <p><その他></p> <ul style="list-style-type: none"> どうでもいい。 ・面倒だ。 ・何も考えていない。 恵子さんがひいきされるのは困る。 本当はまだ行くのが怖い。 </div>	<p>※教師が生徒の意見を仕分けして、ネームプレートを貼ることで、生徒が互いの立場を把握できるようにする。</p> <p>※座席グループで意見交換をすることで、反対意見や質問に対する準備ができるようにする。抽出生徒A、Bの意見を把握し、討論で早めに意見が言えるように励ます。</p> <p>※キーワードのみを板書することで、それぞれの立場でも理由の違う意見があることを理解しやすくする。(②C:気づかせる)</p> <p>※責任感への価値を高める意見が出なかった場合は、掲示物コンクールの際のわたしの発言を取り上げる。それによって、みんなが望んでいることは、「わたし」の普段の行動や人柄ではなく、キャプテンの立場があるから言ってほしいと思っていることに目を向けさせ</p>

40	<p>学級や学校生活での役割を振り返ってみよう。</p> <p>○振り返りをする。</p> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px;"> <ul style="list-style-type: none"> ・僕は電気を消す係だが、面倒な時は人任せにしていたから、役割を果たしたい。 ・部活動では、それぞれがきちんと準備をしているから、練習がすぐに始められるようになっている。 ・宿題チェック係は自分の時間を使ってみんなのために仕事をしてくれているから、宿題をきちんと出す人が多い。 ・合唱コンクールでは、指揮者がよく指示を出していて、みんなが協力して、いい練習ができた。 </div> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; margin-top: 10px;"> <p>話し合いを通して、自分の役割と責任を自覚し、感情に左右されずに責任を果たしていくことが集団生活を円滑に進めていくことを再認識し、今後の自分の取り組みを見直していこうという実践意欲を高める姿。</p> </div>	<p>る。(③C: 焦点化する)</p> <p>※その他の意見も尊重し、他の立場の生徒に「どう思う」などと問い直すことで、対話が活発になるようにする。</p> <p>※自他の役割について書くように指示することで、集団生活で役割を果たす場面がたくさんあり、互いの生活が成り立っていることに気づけるようにする。</p> <p>※役割を果たすだけでなく、他の役割への協力に関する意見を意図的に取り上げて発表することで、集団生活を支えるためには、協力する人も必要であることに気づけるようにする。</p> <p>☆自分の役割を果たすことによって、集団生活を充実させようとする意欲が高まったか。(発言、振り返り)</p>
----	--	--

授業の視点

- ① ネームプレートの使用で各自の理由と立場の違いを明確にしたことや、記述の時間を確保し、内容を2文以内として指名なし発言をしたことは資料と対話をするうえで有効であったか。
- ② グループでの対話により、自分の意見に対する反対意見を予測する時間を設け、相互指名や相互発問による討論を行い、教師がキーワードのみの板書で支援したことは、生徒が他者との対話をするうえで有効であったか。

板書計画

<p>スクリーン</p>	<div style="display: flex; justify-content: space-between;"> <div style="width: 45%;"> <p>④ (その他)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・本当はまだこわい </div> <div style="width: 45%;"> <p>③ (責任感)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・キャプテンとして </div> <div style="width: 45%;"> <p>② (謝罪)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・逃げてしまつてごめん </div> <div style="width: 45%;"> <p>① (自責)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・自分の都合だけ </div> </div> <div style="margin-top: 20px;"> <div style="border: 1px dashed black; padding: 5px; display: inline-block;"> <p>ネームプレートを貼る。 キーワードのみを板書する。</p> </div> </div>
--------------	--

わたしは言った

B
上級生のところにかけていったわたしは何を思っていたのだろうか。

A
みんなの頼みを断って、その場を立ち去ったわたしをどう思いますか。

ネームプレート